明治四十四年四月八日(土曜日) 第六百六十九號 (一)
月曜及祭日の翌日休刊
(明治四十一年十二月二十四日第三種郵便物認可)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年[illegible]
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久[illegible]一郎
發行所 京城[illegible] 京城新報社
電話[illegible]
仁川支局 仁川[illegible]町三丁目

論説

寺内總督論(二)

東京朝日新聞 天子

▲總督の不評判

[illegible]權威が自己の分に踏み止まらず、[illegible]を顧みざれば、事々で其足らざるを[illegible]するに至るべく、或は[illegible]して相當の人望を失ふに至らん、[illegible]。而も彼が如く[illegible]大容[illegible]以て國民を[illegible]に小さき自信と[illegible]を以て、[illegible]吾人に恰も[illegible]を以て敢て人言を容れざらんとし、[illegible]して撫ふべき[illegible]を味ふて[illegible]に至りては、不評判ならざらんと欲するも得べからず。[illegible]は[illegible]を以て[illegible]へ[illegible]、眞味に於て[illegible]の[illegible]、吾人は[illegible]が爲めに人を[illegible]するにあらず、[illegible]を高め、[illegible]して[illegible]に至らざれば、以て美人と稱す可からず、懊惱たらしむるに至らざれば、以て善政と稱す可からず、然るに今寺内子は曰く、予は[illegible]の如く紅を[illegible]、白粉香水を[illegible]り、是既に美人なり、而して何ぞ汝我に惚れ込まざる、汝は何ぞ速かに我に惚れ込む可し、然らざれば汝を打たんと。

同じく百圓を與へらるゝ場合に於ても[illegible]なる人の態度によりて、百圓の有難さを感ずる比甲乙あることと[illegible]なり。今日世人が寺内子の與ふる百圓を有難からざるは、是れ世人が寺内子に惚れ込まざるが爲めのみ各人の胸の底に「大總督、偉大なる總督だ」と云ふ觀念あるが爲めのみ而して此觀念を以て、實際に於ても亦偏狹なる彼の施政を見る、見るとして非難攻擊の種ならざるはなし、而して非難さるゝ寺内子は自分の元來人を引き附くる餘地なき天分を悟らず、非難の枝葉に亘りてのみ答辯し、自ら立派なる辯解を爲したる積りなるも、[illegible]に煩悶して神經を悩まし居るが如きは、唯滑稽と云ふの外なし。

彼を辯護する者は曰く政治家は萬人に[illegible]する者にあらず、必ずしも評判によりて其價値を上下す可からずと、予曰く不評判なる政治は或は悪政に陥る、而も以て善政と稱すべからず、何となれば政治の要は人心をして倦まざらしむるにあり、同じく百圓を與ふるも、以て與者を滿足せしめざれば其目的を達する能はず、總じて寺内子の今日の不評判は、[illegible]して國民の不滿足より來るものなれば[illegible]なり、當局者[illegible]にしても其不評判の因つて來る處を考へ、深く自ら謙抑して國民の聲に聞くにあらざれば、終に悪政に陥るなきを保せず、予は以下項を別ち何故に寺内子が飽くまで不評判なるかを説明せんとす。

●朝鮮武官の配置

既報の如く朝鮮武官の身分取扱に關する勅令三十一日發布され即ち今後朝鮮軍人は帝國陸軍々人に相當する待遇を受け且つ其服制は帝國陸軍々人と同一の軍服を着用し朝鮮駐箚軍司令部又は朝鮮軍隊司令部附及び朝鮮歩兵隊、朝鮮騎兵隊に於て軍務を採る事となりが今現在重なる朝鮮陸軍武官の氏名を擧ぐれば左の如し

▲駐箚軍司令部附 副將(中將)李秉武、參將(少將)李熙斗 同上趙性根 砲兵正領(大佐)[illegible](以上李王附)步兵參領(少佐)金應善、工兵參領魚基元(以上王世子附)步兵副領(中佐)權泰鎰、步兵參領申羽均外一名(以上李堈公附)步兵正尉(大尉)張宣煥(李太王附)外に中佐相當官以下四名

▲憲兵隊附 砲兵參領朴斗榮外六名

▲朝鮮歩兵隊附 參領[illegible]植外十四名

▲朝鮮騎兵隊附 參領正尉金教先外五名

外事二束

▲墨國 大統領は議會開會式を擧げ敎書を送りたるが革命派は提議案たる統領及び官吏の再擇反對意見を採納し又其他多くの改革を爲すと宣言。

▲講和 墨國内亂に就き大統領は革命黨主領と平和條件協議の爲め會合せり。

▲決議 獨逸帝國議會は[illegible]宰相に對し若し他列强が軍備縮少提議を爲せば其交渉に可應と決議し且英獨條約同等の仲裁條約を他列强と締結を委托。

▲獨逸 裝甲巡洋艦[illegible]號内で汽罐爆發死者三名負傷者四名を出せり。

▲英米 仲裁條約は日米人が實現を希望す但上院の反對論は其障碍ならんと。

▲叛徒 摩洛哥フェッ市叛徒の爲に嚴重に包圍せられ頗る危險に陥ると。

▲解散 普通選擧に依りて選出の現墺國議會は會費支出案反對の爲解散さる。

▲入札 烏港附近漁區入札結果良好邦人に落札せるもの六十七區に上れり。

▲清國 皇帝は兵馬の大權を監國攝政王に委任し國民軍人に勅諭を下さる。

●縣昌鐵道調査

鎭海灣の軍港地たる縣洞・馬山線昌原縣間の鐵道は其延長十三哩にして三百圓の隧道一ケ所を要し工費總額百八十萬圓(内經費九十萬圓)の豫定なりと云へるが朝鮮鐵道草梁保線課長福井技師は目下縣洞方面に出張種々の調査を遂げつゝありと

●朝鮮米と斤量制

從來日本に輸入せらるゝ朝鮮米は斤目不足勝のため荷主及び輸入業者間に於て紛紜の種となること珍らしからざるが大阪朝鮮貿易商同業組合は之を斤量による缺點となし輸入外國米と等しく斤量制によれる例によりて朝鮮米にも斤量制を採用せんとて兵庫に於ける日鮮貿易商同業組合に對し再三交渉を重ねしに久しき慣例の打破と云ひ且つは斤量制とするも砂或は水分混入等により量目増加の不正手段行はれ難きにあらず等の議論出で殆んど行惱みの狀態なりしが此程に至りて兩者間の交渉略纒まり斤量制採用の事に意見一致せしといへば遠からず之れが實現を見るに至るべしと云へり

召使れ初

第四十四回 黙法師

「お道は無いか、お道よ〳〵」と德右衛門の呼ぶ聲は急なり、されどお道は耳にも掛けぬ顏なし「お道、お道、お道は居ぬか」德右衛門はお道の返答せぬに急き立ちて、我家の中を彼方此方驅け廻る中、奥の坐敷より中の間へ出でんとする出會ひ頭、不圖其處に顏見合せぬ、德右衛門は目を瞬らせ「お道、お道、先刻から呼ぶが、其方へは聞えぬか、見せる物ある、さ、此方へ來」と手を取らんばかりにいふ「何事かは知りませぬ、國尾樣仰せ付けございまして、些と急ぐ用もございまするで……」

「でもあらう、なれどこれは此方一身の浮沈にも關はる事、是か非でも見せねばならぬ、疾う來、早う來」と、急きに急きたる顏色なり「いゝ」とお道は後へ退るやうに「其儀なりませぬ、國尾樣仰せ付けの御用ちと急ぐ事ございまするで……」「其はさきに云ふを、此方まだ聞かぬが、さらば私が用といふ、其の次第告げて呉れうに驚くまい、驚いて氣を奥ふまい、實は此方異實の兄、正木佐十郎殿が家奥庭へ忍び込んで、情なく盜みしやうとした、これを店の者見付け、取り込めて監禁最中、此方も付くまいが店頭奥座敷の處々に、國尾樣[illegible]

たるも、今は空頼みとなるべき歟、兄樣も兄樣、常々東軍流奥儀を極めたる身、御自慢あらせ給ふにも似ず、高が町人の手に捕へられて、憂恥辱を見たまふとは武士にあるまじき振舞ひ、人々に取り圍まれ、身分素性を打ち明け語らせたりとある上、此まゝには捨て置れじ、嗚呼什麼とせん、什麼として此大難を免れ去らんと、お道はまづ此鳩に迫る窮屈に困りて、詞もなく忙然と跡きぬ

德右衛門は勝に乘りたる勇士の態度なり「そなたも人間、一人の兄を見殺しにする事あるまいな、そなた力に彼の兵衛の一身も任せられて、表沙汰にも[illegible]なくば、事の表に引き立てらるゝ、武士の一分は佐右衛門殿御名に關はれ、會所役人の手に渡して、それでも此方私に異心を無にするとも知らぬ[illegible]な恥辱見やう[illegible]の」「ね、ね、ね」とお道は仰反る如くに驚きぬ、今にも息の詰るばかり、恐しき八に恐ろしき弱點を握られたる總さ、什麼にして此狀態を[illegible]んかと胸を轟かしぬ、若旦那[illegible]に執念く思ひ掛けなく御手に入らせた兄樣の香餌に、先刻の返答を迫らするからは、什麼にして身を全うすべき、國尾樣御詞を時の氏神と伏し拜み、[illegible]くの情ある御袖に縋らんとのを急ぐでござりまするが、「[illegible]ひを得ぬ事ござりまする」も知らぬ御用承はりて、旦那樣れ[illegible]を捨し[illegible]事なりませぬで、[illegible]論に從ひ參らするでござりまする」德右衛門は悄然と起ち上る、德右衛門は[illegible]

「さうあらう、さうする[illegible]も、佐十郎殿無慘の樣、さ、此へ來て[illegible]見ないか」

德右衛門の伴ふまゝ、德右衛門の居間に隣れ茶の間、椽へ來て見れば、あわ、縲紲の恥辱こそ受けね、佐十郎は店の者に前後を圍まれし、見る陰もなく默居たり

「お、兄上」と叫びてお道の聲、宛らに血を吐く如し、宛ら腸を絞る如し「この御姿は何事でござります、何事でござります」

後ははら〳〵涙にくれて、椽より下へ駈け降りしが流石に取り縋るにもあらず突立ちて、只潸然と泣き沈む

廣告

◎東京電報（七日）

▲東宮殿下還啓 東宮殿下は御旅程を御變更せられ沼津御用邸に御二泊今七日午後二時十分沼津發列車にて六時五分新橋着御還啓あらせらる

▲三公債募集期 滿國公債一千萬圓大阪市債一千萬圓及び勸業債券一千二百萬圓の三大募集は何れか先きに賣出さるゝかは最も注意されたるものなるが愈々左記の如き順序を以て賣出すことに決定したり

一、勸業債券 本月中旬
一、滿國公債 來月上旬
一、大阪市債 來月中旬

▲大學長任命 工學博士中原淳藏氏は九州帝國大學工科大學長に醫學博士伊藤元之助氏は九州帝國大學醫科大學長に補せられたり

雜報

◎農業養成所

京畿道にては各府郡へ配與の恩賜公債使途[illegible]

◎地方會議否認

近々地方長官會議を開かるべく傳へられしも右は何等かの誤傳なるべしと當局者は之を否認し居れり殊に長官も寺內總督歸任後ならんと云ふ

◎本年の土地調査

本年度内に着手終了すべき土地調査測量の豫定を聞くに京畿道にては振威、陽城、廣州、龍仁、陽智、竹山、安城、驪州、陰竹、利川の十郡慶北道にては淸道、永川、慶山、河陽、慈仁の五郡慶南道にては密陽、蔚山、昌寧、靈山、彥陽、梁山、機張、東萊金海の九郡忠北道の陰城郡なりと云ふ

◎漢城府民會處分

別項の如く京城府補助機關は愈々決定せるが其結果彼の坊なるものは自然の消滅を來せり元來右坊なるものは漢城府民會の潛設に係かり且つ同會組織の一分子とも認むべきものなるが一方既[illegible]

近々に還拶すべしといふ

◎定例長官會議

七日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開き山縣政務總監を始め石塚、木內、宇佐美、小松の各部長官、鈴木、池田遞信局長官、安住書記官列席政務の打合せを爲し午後一時散會したり

◎直轄學校と鮮人

文部省直轄學校へ入學する外國人は外務省或は我大公使の紹介により一般學則の規程によらず特別に入學を許可することとなり居たるが今回四月四日付文部省令第六號を以て臺灣人及朝鮮人には本規程を適用し總督の紹介によりて特別の取扱をなすことを發表されたり

興國の秘訣

大隈伯爵

思ふに新日本が、能く東西の文明を調和するの天職を全うし得ると否とは、一に懸つて今後に於ける日本人の世界的智識にある。[illegible]文明の特色は單純より複雜に、昧暗より明瞭へ移る[illegible]だ、この複雜となり行く文明の情勢に適應[illegible]國家は[illegible]るものの日亡よる[illegible]之を消化して自家の藥籠に收むるの能力を有して居るのである、然るに忠孝主義などを標榜して、強て外來の新思潮を驅蔽せんとするが如きは、偶ま世人をして忠孝主義を厭はしむる樣な間違を惹起さんとも限らぬのだ、苟くも文明の調和者を以て任ずる以上、一切を開放して彼我文明の長短優劣を公明正大に研究するの大度量がなくてはならぬのである。

◎漁業處分の近狀

[illegible]

◎通信官吏養成

半島

[illegible]は數百の多數を算す[illegible]數すべき機關なき爲[illegible]あり依て遞信省に交[illegible]同省の遞信官吏養成[illegible]なれり而して今回入[illegible]は現任者より適材を[illegible]選擇中の由

◎私立學校一變

昨春來各地泡[illegible]持に困しみ續々廢校[illegible]漸く一掃して何れも[illegible]稍好成績を見り

◎各地方と勸業設備

農商工部[illegible]業の振興に關する農[illegible]田地得、限り、道廳を[illegible]む方針にて之が經[illegible]よるものなるも國[illegible]庫より補助するものも亦少額ならざりしが本年度以降各地の産業上施設は非常[illegible]

◎總督府の大增築

[illegible]に着手する筈なるが竣工期は本年九月頃なるべしとぞ

◎京城水道引繼

京城水道は一日より官營となり京畿道廳の所管に移れるが未だ倫敦水道會社と[illegible]了せざるを以て昨七[illegible]於て該社の代理者及[illegible]上實地に就き受渡の手[illegible]

◎京城府補助機關

[illegible]たりし補助機關設定の[illegible]が漸く決定し城內[illegible]五部を置き又城外は龍[illegible]仁昌恩平延禧漢芝の八[illegible]長を任命して下級行政[illegible]むる事となれり而して[illegible]詮衡中なるが例に依り[illegible]ある爲め最も秘密に且[illegible]定する筈なりと

◎教育大會と朝鮮

大日本教育會は本年の大會を千葉縣共進[illegible]開く事となり檄を全國[illegible]なるが併韓後の大勢に[illegible]家の參加をも希望し今[illegible]對し代表者の出席を促[illegible]は近く評議員會を開[illegible]

◎市區改正進達

過日京城[illegible]き古城民長より總督府市街市區改正に關する[illegible]に於て調査中なりしが[illegible]官は泥濘雲を掴むが如き市區の狀態に顧みる時[illegible]も能はず依て同題にて[illegible]遂げたる結果適當の申請[illegible]して總督府へ進達せり

◎學校敷地の民會

京城民團學校敷地問題は過日の民會開會中京城方面の敷地確定次第追加豫算を提出する筈なりしも終に閉會までに確定に至らざりしが七日民團役所國井教育部典洞に出張して實地踏査する所あり同所三日中には確定すべく其際には直に民會を招集、新築案を附議する由右新築費は既報の如く市龍山校にて十三萬圓を計上し其經常費は決議の豫算中に含有されざるも豫算の形式上追加豫算と與に更正豫算として提出することとなるべく向後新築經費は起債に因るべき筈なるを以て新築案にして可決確定の上は其起債に就て民會を開くに至るべしといふ

◎高女補助條件

民團立高等女學校に對し本年度總督府豫算の補助費中より其幾分を割き補助金支給の詮議あるべき由は既報の如くなるが右は星局長歸任の後決定すべし而して當局者の方針を聞くに同校の經營費は一切民團の負擔たらしめ下村の金額其以外の必要ある參考品整備の費を[illegible]に供さしむべき條件を附する筈なりと隨て補助額決定するも既定豫算の範圍[illegible]を許されざるべし

◎朝鮮辭書の編纂

朝鮮には元來辭書なくして唯玉篇を以て無二のものとなすに過ぎざりしが總督府取調局にては之れを遺憾となし今回朝鮮辭書とも云ふべき故事熟語の解說及人名、地名等を加へ一種の社會事彙的體裁を具へたる辭書編纂を計劃し既報三日前より着手せりと尙は衆て翻譯中の大典會通は遠からず卒ふるに至るべしと

▲人さまざま▼（三十四）

小松綠君

パテラア、オフ、アーツ、ロース○マスタア、オフ、アーツ、兩米國學位を有する君は福島縣の産で現總督府外事局長及び總務部長官事務取扱である。君少壯志を立てゝ米國に渡り、辛苦艱難、業をプリンストン大學に修む、得たる學位が即ち前記の肩假名である、君歸朝後故陸奧伯の見出しを受け、外務省の翻譯官に出仕し、後ちワシントン及シャムの兩公使館に書記官を勤め同時にバンコックの領事をも兼ねた。日露戰役中は大連民政署の外交事務を扱つたこともあるが、三十九年統監府の外務部書記官として當地に來り、數度の地震に出逢つたが、イツも無難に逃れ、累進して以て今日に到る。君往來進化論一篇を草して某新聞に投す、少壯小松の名嘖々たり、爾後內外新聞雜誌に其得意の國際問題に關する論文を寄すること數回、讀みし者君を以て老大家となす、今や條約改正の事あり、故陸奧伯にして在らば君また撰んでられて相當の働きをすべきに惜むらくは他國條の功名を逐ぐるを獨り當地より羨望するに止まる、思へば君も亦た不運なる人かな。聞く君の好きなは酒と浪速節、而してピンヘッドであつたか、如何云ふ譯かピンヘッドは去年から廢業した。

◎豫算認可申請

京城民團に於ては過日の民會にて可決確定せし本年度豫算に付き七日京畿道廳に認可を稟請せりと

◎日韓瓦斯增資期

日韓瓦斯電氣會社にては未設備の營業所要材料及瓦斯管增布設費等の要を辨じ且つ將來計劃の必要に應ぜん爲め更に三百萬圓を增資す可く內定八月頃發表の由

◎高女の入學式

民團立高等女學校に於ては七日午前十時より入學式を擧行したるが今回新入學生は一年生[illegible]

二十名及び上級[illegible]入者七名なり

◎仁川の恩賜金授與

仁川府管內に於ける兩班儒生耆老者四十九名に對する恩賜金授與式は六日午前十時より仁川警察署樓上に於て舉行したるが一同感涙に咽び居たりと云ふ

◎會議所臨時總會

會議所會頭山口太兵衛氏は東上中なりしが歸京したるを以て會議所にては八日午後六時より臨時總會を開き大聯合會に關する準備の打合せをなす筈なりといふ

◎山口會頭報告會

穀物移出税撤廢運動顛末に付て山口太兵衛氏は明三日中會議所樓上に於て報告會を開くといふ

◎松永中將の歸任

既報の如く第二師團長松永正敏氏は七日午後八時龍山着歸任したり

◎朝鮮將校の演習

朝鮮將校は七日より九日まで天安より溫陽附近に於て測圖演習を行ふ筈にて軍司令部中村工兵大尉魚正領は監督の爲め六日同地方に出張し七日宍道中佐、天神林大尉は右將校二十名を引率して演習地に向へり

◎添田博士來京

日本興業銀行總裁法學博士添田壽一氏は來る十五日頃來京する筈也

◎牛田局長を招待

目下滯京中の牛田國庫局長を當地銀行集會所に招待せり

◎倉富長官の消息

北韓地方視察中なる倉富長官は目下新義州に在り國境司法監獄の事務を視察中なりと

◎長濱事務官の歸省

內務部地方局事務官長濱永三氏は實父病氣見舞の爲め約一週間の豫定にて郷里滋賀縣に歸省したり

◎敍任辭令

（五日附）

陸軍二等軍醫 小野彥三
陸軍三等軍醫 佐谷熊次郎
陸軍三等軍醫 士屋十六
、各通
警察醫務を囑託す
陸軍一等軍醫 大原文作
警察醫事囑託を解く

◎平元間道路改修

平壤元山間の峯嶺崎嶇たる間を通する間ゆる平元道路五十里の線路は北西朝鮮の連絡に充つる唯一の幹線道路にして軍事上商業上極めて重要なる價値ありき、當局の線道計畫が平元線を第三期線となしたるも以上の理由によりて兩地の連絡を密にせしむるは少くとも今後七八年後ならざるべからざるを以て其以前に線路改修の計畫あるべきは一般に豫想する所なりしが其筋に於いても愈々該路線を幅四間の一等道路とし內部土木局平壤出張所をして本月上旬より約一ヶ年の豫定を以て本年度內に竣工せしむる筈なりと

ひべき平壤より約五里迄の地點間實測に着手せしめしと而して本年度內該線工事費は約十萬圓に達すべしと

◎鴨江運航時刻改正

朝鮮鐵道局にては安東新義州間の小蒸汽船運航時刻を來る十五日より左の通り改正す但し當日の局報を以て發表したる時刻は朝鮮時間なり

安東縣發	新義州發
午前九時十分	午前九時三十分
午後〇時五十分	午後一時十分
同五時二十分	同五時四十分
同九時	同九時二十分

[illegible]は安東縣發は午前十時五十分、午後二時十分、同六時三十分、同十時二十分なり

◎北韓の道路工事

明治四十四年度以後五ヶ年間繼續事業として國費を以て起工すべき咸鏡北道の豫定線路は左の如く決定せりと

雄基慶興間四間幅九里、會寧行營間二間幅六里五町、輸城茂山間三間幅二十三里、古淸津會寧間四間幅二十三里五町、城津站水南間四間九里、城津鏡城間三間幅四十里、北靑城津間四間幅三十五里

◎江原道の新度量衡使用

京畿道江原道に於ては四月一日より度量衡法を施行せられたるが是より先き農商工部にては吏員を出張せしめて度量衡に關する巡回講話をなさしめたるに人民は能く其意を諒し昨今は自分進んで新器を使用するといふ

◎醫師大會と參加者

本月當地にて開催せらるゝ滿韓醫師大會に大連よりの出席者は滿鐵會社三名開業醫二名の豫定なりと

◎學校組合設立認可

江原道寧越學校組合及忠淸北道沃川學校組合設立の件六日附を以て認可されたり

◎東拓出張所長會議

東洋拓殖會社の出張所長會議は昨日より日々開會しつゝあるが八日を以て終了する由なり

◎民團立學校一束

京城民團立各學校は去五日入學式を行ひ翌日より新入學兒童に就ては午前と午後に相分ち三部教授をなし居れり右の爲め南大門小學校の如きは教員室を開放して教場となせり△幼稚園は六十五名の豫定のところ百二十名の入園志願者ありしが遂に抽籤法により豫定數丈けを入園せしむる筈なりと

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
七日	一六〇、三四九、三四	六五六

▲市川實氏（大阪府技師）同館在館へ
▲植竹入男氏（代議士）六日平壤行

▲治外法權▼

目下東京中の生田鐵道局長曰く、鮮人の貧弱は實に驚くに堪たり、其理に到れる素より惡政の結果ならべきも、大原因は個人の無氣力なるに依らずんばあらずと▲亦た曰く、鮮人は去勢せる人間に過ぎず、生存競爭上優勝劣敗の原則を以て眞理なりとせば同化の如きは言ふべくして行ふべからざるに了らんと▲宜や稍奇矯に響く、併し齒に衣着せぬ斷言としては全く其通りであるのだ、之を彼の多くの觀察者の才應なり證に比して眞率なること高々であるのだ▲多くの鮮人食物あれば悠々長煙管に親しみ食物無ければ斷食を敢てす、斯は彼等が生存に關し無氣力たるの然らしむるところだ、併し此無氣力や其本因を尋ぬれば、民は依らしむべし、知らしむべからずとの儒教主義社會組織が馴致したものであるのだ▲世人の一部口を開けば曰く鮮人を教育するには儒教主義を可とすと、而して寺內總督の如き所謂儒教主義標榜者の一人であるのだ、笑んぞ圖らん、鮮人は儒教主義の爲に奴隷根性を馴致し、向上心を失ひ無氣力となり、去勢されたる人間となつた▲今や寺內總督鮮人教育の方針を立てんとす、而して其採用せんとするところは儒教主義だ、アー儒教主義、生幷が數百年間斯民を教育せし結果、生みたるものが長煙管と斷食であるのだ依らしむべし、知らしむべからず主義の恐るべきは膨々たるものであるのだ▲半島財政の獨立、之が成就すると否とは初めて大陸帝國となつた我政敗の鍵がるゝところであるのだ、而して財政の獨立を成就せんとせば實第一要義は鮮人の租稅負擔力を增さしめざるべからざるであるのだ▲アー去勢された無氣力の鮮人、彼等をして租稅負擔力を增さしめんと欲せば、先づ第一に近世的教育を以て元氣を吹き込み、自己の生存に對して向上を計らしむべしであるのだ▲鮮人の無氣力なるに反して淸人此頃の人氣は大したものだ、彼等は租借期限來らば我より旅順大連を回收せんと放圖く、彼等の放圖や大に良し、我は我としての考があるのだ▲加藤恒忠曰く陋米人は獸性で日本人は禽性だと、而して禽性邦人中にて飛行家の出ぬのは此の譯か▲岡尾專務局長の辭職はホントーの樣だ、總督の儒教主義、岡尾の新任主義到底相納れずか。

人私

▲武田秀雄氏（海軍少將）六日天眞樓へ
▲水谷千高吉氏（平壤鑛業所次長）六日浦尾旅館へ
▲牛窪作次氏（陸軍步兵少佐）六日山本旅館へ
▲安井作次郎氏（馬關每日新聞社々長）六日浦尾旅館へ
▲倉富熊緑氏（北陸タイムス社記者）六日旭旅館へ
▲小林一生氏（辯護士）六日巴城館へ
▲西村太郎氏（佐賀農銀頭取）同浦尾へ

▲京城南大門乘降客（六日の分）[illegible]
▲鎮南浦乘降客（六日の分） 乘車客 二二五 下車客 二四八
▲中國丸 鎮南浦へ向出港
▲高砂丸 同 牛莊へ向出港

株式電報（七日）

[illegible]

相場電報（七日）
大阪明治町西村支店電報
▲大阪株式（昨日後場）（當日前場）
▲仁川港の出入船舶▼
●六日 大阪明米 ▲仁川米豆取引

呪はれし女の半生

▲又逢ひたく成りました

別れれば顔見りや猶更ら身の因果を毎日泣いて斗り居ねばなりませんか、姿は何所へ参ります積りして、宗禪の如な身體を引きずつて。預つて居ました襦袢を洗濯せずに其の上に一生の思ひは綴にして、焦れつたい何所へ行つても所天と思つて肌につけて一寸とも離しは思ひません。其の代り昨日は口惜しまぎれにかみ裂いたアノちりめんの長襦袢はカケへさしてお胴着をうして襦袢の胴にして出來たら届けする前に長唄の〔illegible〕きましたから出來たら〔illegible〕姿の思ひが籠めてあるから〔illegible〕れまするまいね、とみ

あゝ逢ひたくつて／＼矢も楯も堪らず其所は自前の心安い、名が同じで人が逢つて居やしないか只西小門とある丈けで判るか何うかも考へず滊車も通しで昨日の晩着いての今日、西小門の料理屋で藝妓が要るとの話しを聞いて西小門とは關ふてもない付合せ必ず所天に逢へるものと虫が知らせたとでも申すのでしよう勇んで行つて見るとアノ腰掛茶屋、旅館して歸らうと立ち上つて見下した前の通り眼に映つたのが所天、眠ても覺めても忘れられない所天の姿、エ、能く見違へなかつたと仰云るの姿しを其儘薄情者と思つて居らつしやるの」と一寸恨みの眼差を男に向けて「只つた一つ姿しや所天に誇りがあるの、れ別れして此の方藝妓稼業はして居ても殿御に逢つた事は無いの」ハッと氣附いて愧かしげや袂を顔に押し當て「初々しさ「俺も一生女房は持ねね」甘かりし初戀の昔を語つて終夜、五日が程の滯在に百年の語らひ「顔見りや何日までも一緒に居たくなる、永く居て君しも知つてる方にでも逢ひ扱れば斯うした女だと知れたら所天の名が汚れる」其の月廿四日の夜多情多恨の身を載せて線路遠く平壤に去つた。爾來香として消息なきこと五年、本年三月滿洲千金寨よりとして届いた手紙に曰く**又會ひ度く成りました**と男は妻帶したとも知らず（完）

六年前に馴染め斯くして別れた男女の縁の盡きずして京城で邂逅つたの

二月五日 〔illegible〕 である。「幾分苦勞したらうナア」熟々女の顔を見「スツカリ容子が違つたせ」が。〔illegible〕やら致しまし〔illegible〕大抵〔illegible〕しま〔illegible〕

三日月旅館の奥

〔illegible〕忘れられない戀しい女の顔は冴返つた〔illegible〕をして妾しは奥〔illegible〕

州の國川一つ隔てた山の目

〔illegible〕周旋されて行つたよ、ト云ふのでしよう、〔illegible〕其の夜滊車で東京をアノ懐かしい宇都宮へ〔illegible〕の人の周〔illegible〕

武州浦和の

〔illegible〕の松葉から小花田、〔illegible〕試たが面白くないか〔illegible〕田の戯ち宴會で

拾つた手紙の封筒

吉田寅吉 差出人 京城西小門〔illegible〕

仁川強盜捕縛顚末

△仁川署刑事の活動 去る四日仁川濱町二丁目片山實職方へ押入り乃を振翳し家人を強迫して金四圓を強奪して逃走したる曲者が一昨日京城南大門外東洋館に於て仁川署の刑事に捕縛せられたる事は不取敢昨紙欄外に報じ置きたるが今其詳細を報ぜん、曲者は愛知縣愛知郡熱田木之免町二番地平民現住所不定**渡邊千太郎**（三四）とて幼少の頃より素行修らず十九歳の時北海道へ渡り無賴の徒に與し後東京に出で惡事を働き居たるが其の筋の警戒嚴重なるより表面を繕ふ爲め豆腐屋又は魚屋となり又日本橋區茅場町某又方へ奉公せし事ありしも惡心改心せず去月三十日仁川着以前に於て東京にて強盜に押入り金四十五圓を強奪し其金を費消しつくし當地に入込みしも今回彼の自白に依て明なる處なり彼は仁川若松町白石旅館に留泊なし居たるが阪下今井の兩刑事は特に擧動不審の點のあるより去る四日犯行の當日仁川警察署より**原籍**地に發て電報を以て身許**照會**中なりしが未だ返電なき其夜彼は何氣なく歌舞伎座に芝居見に行き歸途斯る惡事を働き何喰はぬ顔にて旅館に歸り寢に就きし事とて警察にては入方へ非常線を張りし更に怪むべき者なきより阪下今井小池の三刑事徹宵犯人の行衛を捜査したる結果前記料理の行衛を感附き白石方に捜査せし時は時早や遲れたり已に何れへか風を喰つて逃走したる跡にて刑事は更に歩を進め市中を限なく捜せし處五日本町四丁目某理髪店にて彼れを發見し者理髪して立去れりとまで突止めしより刑事は勇氣百倍し探査を重ねたるに同日午前十時十分扭觀發列車にて京城に向ひし形跡あるより今井阪下の兩刑事は六日龍山に至り各旅館を捜したる上京城南大門外**東洋館**に至り主人に尋ねたる處似寄りの者宿泊なし居るとの事に兩刑事は雀躍して二階に昇りし處不在なるより適切り風を喰ひしに非ずやと疑心を起し居間るもなく彼は附近へ一寸買物に行きし事とて歸り來りしが店口の椅子に腰を卸し二階へ上らざるより二刑事は階下に下り有無をも言はせず捕縛したるは六日午後〇時三十分なりし彼は**力強く身長六尺**に垂んたる大男にて人相又凄々しく一見惡徒の相なるが就縛の上は最早詮術なければ是迄犯せし罪狀は白狀せんも只今は**空腹**なるより**晝飯**を食ふ中繩を解て與れと云ひしより兩刑事は彼の術策を警戒し繩を解き一膳數杯の飯を平らげたるより再び繩打つて仁川警察署に連來り目下野村警部の手にて嚴重取調の上檢事局に送る筈なるが餘罪ある見込なりと

京城藝妓の半生

多情多根

今の斯の身に成りました理由因緣來歷を涙に解いた愁言もあり愁言で堅めて涙の衣を薄らく掛けたる人の惡い姐さんのもあるべしサア鬼が出るか蛇が出るか、明日の紙上第一番に罷り出つるが**花月樓若一**

●休職技師の公判

總督府休職技師石田鎧太郎の詐欺取財事件は第一審に於て有罪となりしも不服として控訴申立て京城控訴院刑事部に於て十日梯森判長、深澤檢事の係りにて公判開廷せられ被告辯護人として岡田高橋、中村の三辯護士出廷す事實の審理詳細に亘り被告は一切知らずと否認し辯護人は無罪を主張し言渡は追て宣告す可しとて閉廷したり

●龍山種痘日割 九日より十四日に至る日割左の如し

四月九日午前中 万里倉洞長宅（万里倉東門外契洞）、〔illegible〕午後中（舍契洞）宅方一坐井契新草甲沙村里、自午前九時至午後四時（麻浦洞長朴某方（麻浦孔德里一圓、四月十一日同上（東幕駐在所）東幕血脈里十亭里、四月十二日同上（西湖駐在所）西湖玄石里部内一圓（十亭里を除く）、四月十三日同上（下浴水里洞長宅）下水浴里楊花津部内一圓、四月十四日午前中（栗島洞長宅）午後中（汝無島洞長宅）栗島汝無島

●命根等審問終了

兇漢安重根の從弟安命根等は昨冬來總督府要路の大官に對する陰謀は其筋の嚴重なる警戒に窮し遂に本年一月以來連類者一團四十餘名檢擧され爾來警務總監部に於て嚴重審問中なりしが此程右取調全部終了したるを以て今明日中に京城地方裁判所檢事局に回さるべしと

●道場開場式

憲兵司令部にて新築せし憲兵隊武術道場の開場式は八日の土曜日正午より擧行の筈なるが當日は十五組の擊劍勝負あり終りて餘興には目下歌舞伎座出演中の雲右衛門を招し得意の一席を語らしむるよし定めて盛大ならん

●雲入と日韓書房

浪界の旗頭雲右衛門入道來京の報傳はるや機を見るに敏き日韓書房主直ちに彼れが著述にかゝる十八番の讀物赤穗義士銘々傳數百部を取り寄せたるが既に殘部幾何もなしと雲の人氣大したもの

●奉天の罪が京城で

京都府下乙訓郡久世村百二十一番地小西宇之助（三三）は滿洲奉天連山關に洋服行商人に雇はれ中店の金四百八十圓を拐携逃走し京城に來り本町六丁目に潛伏し居たるを長野刑事に逮れ目下取調中

●醉つて拘留十日

愛媛縣人當時旭町一丁目村上石太郎（二七）は五日午後九時頃銘酊し街路を徘徊し南部署に於て拘留十日に處せらる

●本村喜次郎の公判

本村喜次郎の器物毀損並に詐欺取財事件は塚原裁判長、境檢事の係りにて公判開廷せられ被告〔illegible〕

●演藝だより

●歌舞伎座 雲右衛門の盛況により一日日延をせしが右衛門八日の讀み物は十八番中の十八番赤垣源藏德利の別れ〔illegible〕
●壽座 〔illegible〕
〔illegible〕

▲天國の如な小學校▼

各學校で一學年の入學式を行つた〔illegible〕しそうに皮靴を〔illegible〕かながく歩むで行く先生から〔illegible〕學試驗か濟んでカ一同る式場へ集め校長が皆さんは能くお父さんやお母さんの言ふ事をお聞きなさるでせうよ何か事を是から一層言ふ事を聞かなければ不可ませんよ言ふ事を聞ける人は手を擧げなさいと命ずるスルと兩手を紅葉の樣に擧げて擧げる次ぎに是から能く先生の言ふ事を聞いて勉強しなければ不可ませんよ夫れが出來る人は手を擧げなさいと言ふとゾロ／＼と皆んなが擧げる其次ぎは行き歸りの電車や車を能く氣を注けなさいと言ふと又一樣に手を擧げる氣を注ける人は手を擧げる夫れは／＼何とも言へない趣味ある入學式であつた

●龍山座● 壽座に於て大評を博した掛取萬歲全一座を演ずる由
●龍山座● 藝仙人片田源七一行の神術は八日より向二日間龍山座に於て開演の由
●浪花館● 浪花節京山若國吉川今勝合併一行八日の讀み物は征韓論五月雨日記島田一郎傳（吉川孤舟）空家死美人被告事件（同孤舟）和歌の浦譽の太刀風（同孤舟）落語（笑福亭市圓）豪膽軍人兵營の夢、娘教育惧の拳銃（吉川今勝）伊達黒白論對決迄續き讀、萬國不二義士の審討入迄（京山若國）

●托鉢と降誕會

若草町一丁目眞宗本山別院にては去五日より托鉢を修行し一般赤貧者をして讃歎の聲をも擧かす事能はざる者の爲めに通路の時讀經圖向の望を充たし與家庭法話を希望する者の爲めには之れに應ずると云ふ

於京城春季自轉車競爭大會に

ラーヂ ラシクルの大勝

名譽ある月桂冠は
自轉車の覇王たる



ラーヂ
ラシクル

四月三日東大門內訓練院
京城春季十哩競爭大會に於ける

一流撰手 第一着 木村作造君 乘用車ラシクル
二流撰手 第一着 東啓一君 乘用車ラーヂ
聯合撰手 第一着 佐々木音市君 乘用車ラーヂ

名譽あるラーヂ ラシクルに依りて得られたり

英國皇室御料 ラーヂ
朝鮮總督府御用 ラシクル
朝鮮代理店
瀧川銃砲店自轉車部
京城明治町二丁目
電話三〇二番